

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6 年 3 月 10 日

公表: 令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 いちにのさん

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	3	部屋を工夫し、利用者が狭い所に固まらないようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	4	2	3	平均2人の利用者 に1人の職員・スタッフ が配置できるようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	5	1		階段があり、トイレ前に段差がある。 エレベーターがない。 バリアフリーは、建物の構造上出来ていない。 →今後検討していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	3	スタッフ同士が気軽に話せるよう、事務所の雰囲気を整えたり、ミーティング、連絡ノートを活用したりしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	2	確認をするようにしている。	分からないので評価できない。 →スタッフ全員がわかるように情報共有をしていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	2	ホームページに公開している。	分からないので評価できない。 →スタッフ全員がわかるように情報共有をしていきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	3		分からないので評価できない。 →スタッフ全員がわかるように情報共有をしていきたい。 出来ていない。→これから行っていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	2	児童部会等、研修の機会を職員に広く持とうとしている。	更に研修の機会があるといい。
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	1	子ども、保護者の話を出来るだけ聞くようにして支援計画に繋げている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3	1		アセスメントツールが活用できていない。 →これから活用していけるようにしていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2	0	行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	2	0		固定されたプログラムになっている。 →敢えて固定化させて、状況に応じて柔軟な動きが取れるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	4		細やかには決め切れていないが、その日の状況に応じて柔軟に対応している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	1	組み合わせで作成するようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	2	話し合いを行っている。	一部のスタッフしか出来ていない。 →その日出勤しているスタッフ全員で打ち合わせが出来るようにしていきたい。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	2	気付いたことを気軽に話し合えるように、連絡ノートに落とし、ヒヤリハットに記入したりしている。	一部のスタッフしか出来ていない。 →その日出勤しているスタッフ全員で打ち合わせが出来るようにしていきたい。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	1	記録を取り、改善に繋がられるように折に触れて読み込むようにしている。		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	1	モニタリングを行い、見直しを判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1	3		ガイドラインの基本を読み切れていないところがある。 →今一度ガイドラインの内容を確認していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	1	参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	2	適切に行い連絡を密にしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	5		分からないので評価できない。 受け入れていない。受け入れがない。 必要な子がいない。 体制が整えられていないので受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	1	話し合いや報告の共有を出来るだけ行うようになっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	2	必要であれば、提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	3		助言、研修は受けていない。 →助言、研修の機会を設けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	2	1	公園活動時。地域の公園等の利用の際、一緒に遊べるようになっている。 公園の活動では、障害のない子どもと交流する機会がある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	3	積極的に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	1		出来るだけ伝えるようにしているが、保護者によっては共通理解に至っていない場合もある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	2		なかなか行えていないが、こちらの要望を理解していただき、改善をお願いしている保護者はいる。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1	0	支援開始のときや、聞かれたときは積極的に話をしている。	保護者との関わりが少ないため評価できない。 →できるだけ全てのスタッフが保護者と関わる機会を持てるようにしていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	3	悩みに対して答えられるところは支援に受け入れて、悩みの解消に努めている。	保護者との関わりが少ないため評価できない。 →できるだけ全てのスタッフが保護者と関わる機会を持てるようにしていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	6	0		保護者との関わりが少ないため評価できない。 保護者会や父母会を持つことが出来ていない。 →コロナ禍も明けたので、これから行っていけるようにしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0	苦情があった場合はすぐに対応しインシデント等に記録を残している。	

責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	1	定期的に会報を発行している。インスタグラム等SNSを使って、活動を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	8	0	1	注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	2	配慮できるよう努力している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5	1	地域住民のふれあいの機会は、ボランティアとして参加、見学してもらっている。	分からない。 →職員・スタッフに共有し、情報を広く知ってもらえるようにしたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	2		マニュアルはあるが、周知をさらに深めていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0	避難訓練を年2回から3回行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	研修の機会を持ち、職員・スタッフに振り返りの機会を作るようにしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	0	支援計画に記載し、保護者への説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	1		医師の指示ではなく、保護者の報告に基づいて対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	1	ヒヤリハットを作成している。	職員・スタッフに共有し、情報を広く知ってもらえるようにしたい。